

# あよなら 平成

私の思い出

平成8(1996)年、横浜市の中学から能代工業高校のバスケットボール部に入りました。高校3冠を3度達成し、どの試合も割と覚えていますが、大好きなバスケットを仲間とできた楽しさが一番の思い出ですね。

入学前に何校かから誘われましたが、練習に参加したのは能代だけ。「走るバスケット」は自分の得意なプレーを生かせること



田臥 勇太さん(38)

能代工高出身  
プロバスケット選手

## 「走るバスケット」が原点に

思いました。ボールへの執着心を持つことなど、自分のバスケットの原点は能代工にあります。

能代はいい意味で田舎。いつ行っても懐かしい。自分には新鮮で集中できた。「バスケットの街」と言われること自体すごいと思っただし、大勢の市民に応援される環境でプレーできたことには

今でも感謝しかない。

今は栃木のチームにいて、秋田ノーザンハピネッツと対戦する側ですが、秋田の人が熱く応援する姿を見ると、こちらまでうれしくなります。バスケット界を盛り上げたい気持ちは同じ。令和が若い選手の活躍で日本のバスケット界が盛り上がる時代になってほしいし、自分も1年でも長くバスケット人生を送りたい。

令和まで5日

(聞き手 田中倫子)